

23118_食と農の市民談話会 SEASON3 (実践・対話篇) 第4回

私が巻き寿司に巻き込んでいるもの ー八幡名子さんの思いー

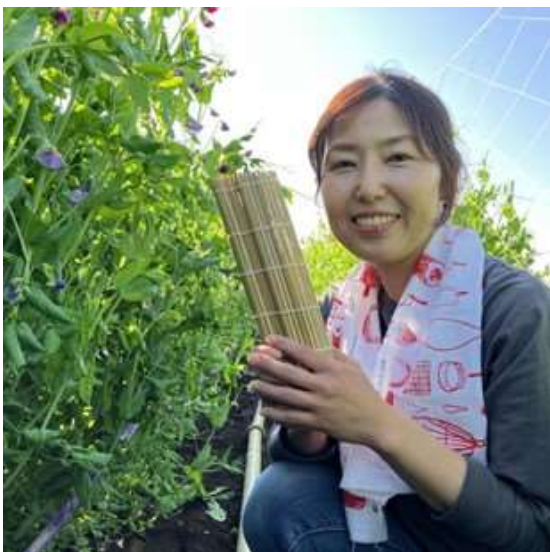
本日のスケジュール

- 19:00～19:15 開会、趣旨説明
- 19:15～19:20 箕と環について、本日の献立等(川野元基さん)
- 19:20～20:20 八幡名子さんからのお話と実演
- 20:20～ 交流、意見交換。参加者からの自己紹介
- 21:30 終了

参加費など

料理代+ワンドリンクは参加費に含まれています。
追加ドリンクは各自、キャッシュオンでお願いします。
なお、参加費のうち500円はUNHCRを通じて避難民支援のために
寄付させていただきます。

主催者 ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」主宰 中田哲也
<http://food-mileage.jp/>



一日も早い戦火の終息を、
心から祈ります。

自己紹介

1960年 徳島市生まれ。

1982年3月 岡山大学農学部卒業。2012年 千葉大学大学院園芸学研究科修了
(博士(農学))

1982年4月 農林水産省入省。2001年4月～03年7月の間、農林水産政策研究所に
おいてフード・マイレージに関する研究に従事

2020年3月 定年退職。現在、農林水産省統計部勤務(再任用)



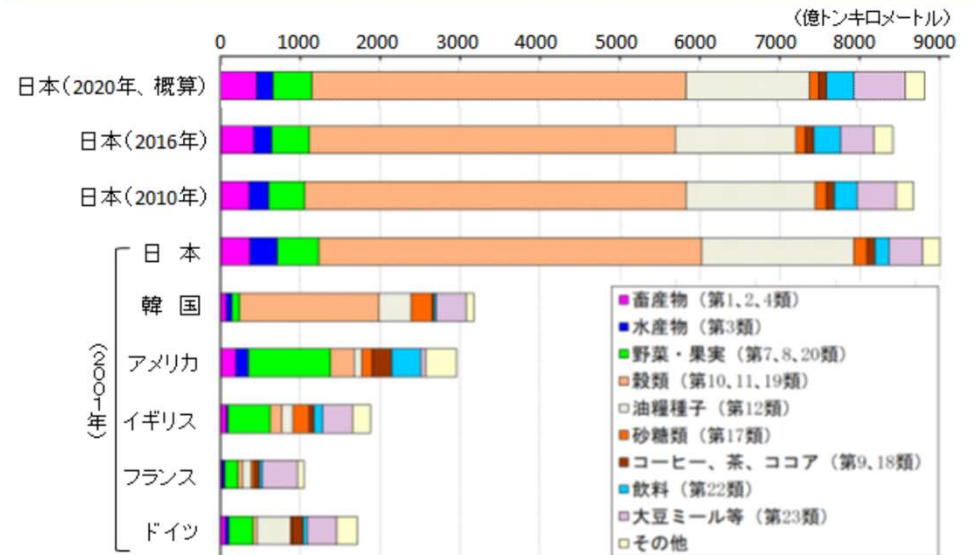
個人的なライフワークとして、フード・マイレージの普及等に取り組む

東京・東村山市在住

自宅近くに市民農園の一角 (30平米) を
借りて農作業の真似事



輸入食料のフード・マイレージの比較 (総量、品目別)



注: 世界最大は中国(計算していない)。

フード・マイレージから見えてきたもの

- 私たちの食生活は長距離輸送されてきた大量の輸入食料に依存
⇒ 輸送の過程で大量のCO2を排出(自分自身の食生活＝地球環境)
- 食(食卓、消費者)と農(産地、生産者)の間の距離(感)の拡大
⇒ 消費者にとって、食べものは単なる「商品」に
食べものを大切にし、生産者を敬い、自然や環境を畏敬する気持ちを喪失
⇒ CO2排出以外にも多くの問題が発生
(食料自給率の低下、食に対する不安の高まり、大量の食品ロスの発生、担い手の減少、荒廃農地の増加、「限界集落」の発生)
- 「食と農の間の距離の短縮」、「顔の見える関係づくり」が重要
⇒ 「食と農の市民談話会」の開催(2021年6月～)
詳しくは→ https://food-mileage.jp/2023/10/15/shimin_danwakai/

「食と農の市民談話会 Season1、2」の開催

(NPO市民科学研究会主催、2021年6月～22年3月、全9回、オンライン)

第1回 2021年6月8日(火)

「1億農ライフ～都市の私達による食の革命」

小谷あゆみさん (ジャーナリスト、ベジアナ)

第2回 7月13日(火)

「牛力草刈りで、あたたかい復興」

谷さつきさん

(もーもーガーデン、福島・大熊町)



第3回 8月10日(火)

「現場から見える日本の食、農の課題」

榎田みどりさん (農業ジャーナリスト)

第4回 9月7日(火) 「農山村に誘われた10年」

大和田順子さん (同志社大学)



第5回 10月5日(火)

「私が巻き寿司に巻き込んでいるもの」

八幡名子さん (東京・八王子市)

第6回 11月9日(火)

「食と資本主義の歴史～人も自然も壊さない経済とは?」

平賀緑さん (京都橘大学)



番外編 (放談会)

12月21日(火)

第7回 2022年1月18日(火)

「有機農業の意義と可能性～山間部での取り組みから」

浅見彰宏さん (有機農家、福島・喜多方市)

第8回 2月15日(火)

「自分らしい暮らし+小さな農業」

赤木美名子さん

(もんぺ製作所、新潟・上越市)



第9回 3月15日(火)

「川湊の暮らし・港町の仕事」

森歩(あゆみ)さん (JF但馬、兵庫・香美町)

食と農の市民談話会 Season 3（実践・対話編）

オンラインでは不十分：より実践的な、対話を通じた共通体験の場づくりが大切では？

第1回 2023年3月15日（水）

「地域の生産者や事業者さんを応援したい
－『箕と環』代表・川野元基さんの思い－」

川野元基さん（「箕と環」代表）



第2回 2023年5月25日（木）

「パレスチナの今－写真家・高橋美香さんの思い－」

高橋美香さん（写真家、ジャーナリスト）



第3回 2023年7月15日（土）

「親子で食農体験－採りたて夏野菜を食べてみよう！」

白石好孝さん（練馬区大泉、白石ファーム）

[NPO CSまちデザインとの共催]

新潟・上越市大賀(2022.10/1)



【今回】第4回 2023年3月15日 (水) 「私が巻き寿司に巻き込んでいるもの -八幡名子さんの思い-」

八幡名子さんプロフィール

- 大阪出身。神奈川・川崎市、横浜市、相模原市を経て、現在、東京・八王子市在住。
- **巻寿司特任大使** ((株)あじかん、4年目)
- JSIA認定飾り巻き寿司1級インストラクター
- 江戸東京野菜コンシェルジュ

「生産者、それを巻く人、さらに食べる人が合わさる一本の巻き寿司は、さあ！どんな味がするのでしょうか？」

(八幡名子さんホームページより作成)

<https://www.yahatameikomaki.com/ym-profile/>



(写真は八幡名子さんFB、Instagramより)

私が巻き寿司に巻き込んでいるもの -八幡名子さんの思い-

食(食卓、消費者、都市)と農(産地、生産者、地方)の間の距離が広がってしまったことで、様々な問題が生じています。その一方で、「食」は、遠く離れている場所(人やコト)を想像する「よすが」にもなります。

食と農の間の距離を縮め、顔の見える関係づくりを目指す「談話会」実践・対話篇の第4回のゲストは、巻寿司大使の八幡名子さん。

地元の東京・八王子をはじめ全国の産地に足を運び、生産者との交流を続ける名子さんから、実践内容とそれを支えている「思い」についてのお話を伺います。

後半は、名子さんが各地の生産者からお預かりしてきた食材を使った手作りの巻き寿司と、同様に産地や生産者・事業者にこだわる「箕と環」さんの特製料理を頂きながら、懇談を行います。

日時:2023年11月8日(水)19:00~21:30

会場:47都道府県レストラン 箕と環-MINO TO WA-

東京都中央区日本橋本石町4-2-6神田GMビル1F
(JR神田駅西口から徒歩約5分、03-5201-9886)
<https://minotowa.therestaurant.jp/>

定員:30名、参加費:4000円

料理代+ドリンク(追加ドリンクはキャッシュオン)
なお、参加費のうち500円はUNHCRを通じて
避難民支援のために寄付させていただきます。

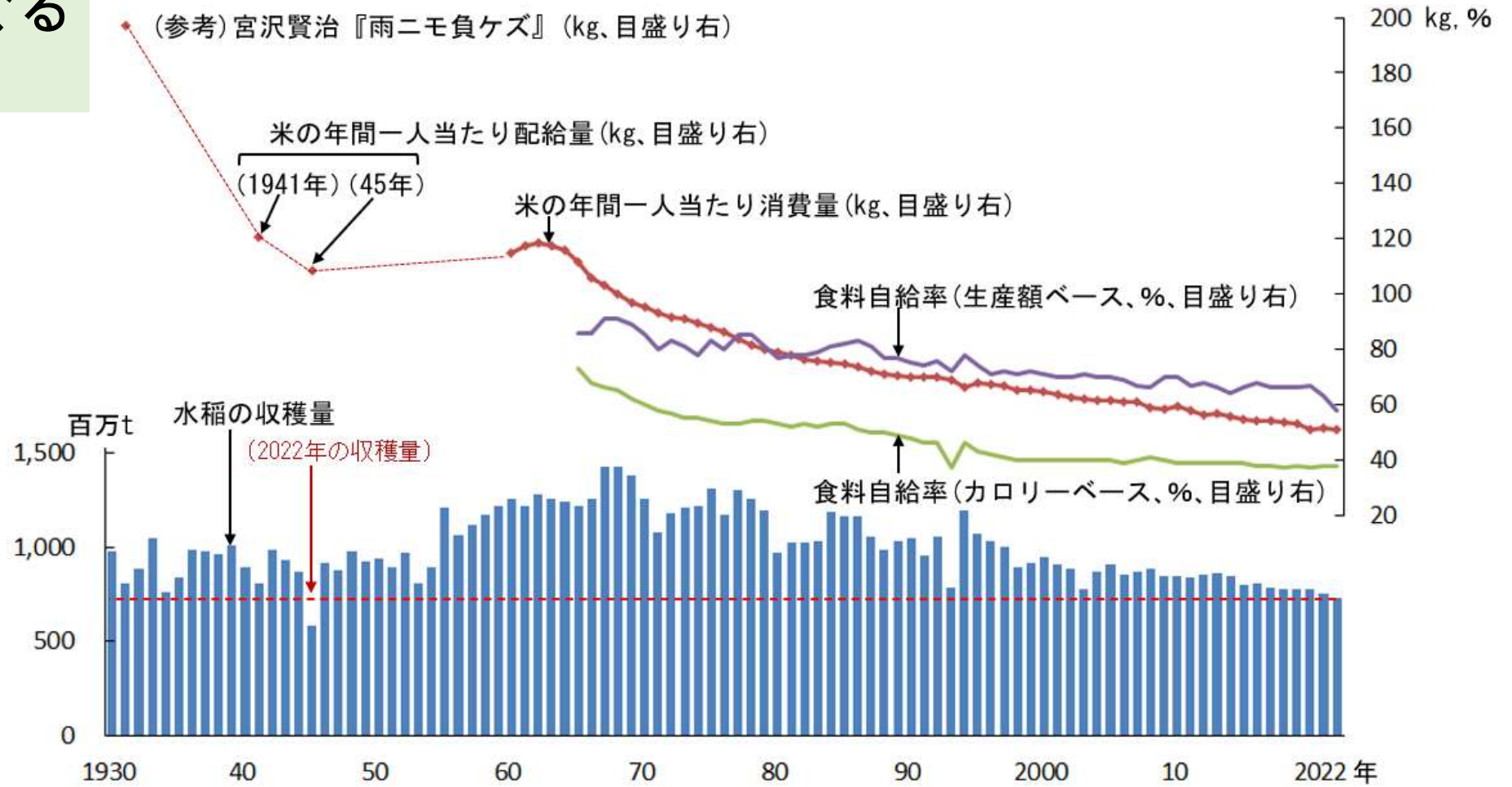
食材として、磯沼ファーム(東京・八王子市)、
菅野農園(山形・長井市)のお米を提供させて頂く予定です。

(参考)八幡名子さんホームページ巻寿司やさん

<https://www.yahatameikomaki.com/>
主催者ウェブサイト <https://food-mileage.jp/>
フェイスブックのイベントページ
<https://www.facebook.com/events/311215424947697/>



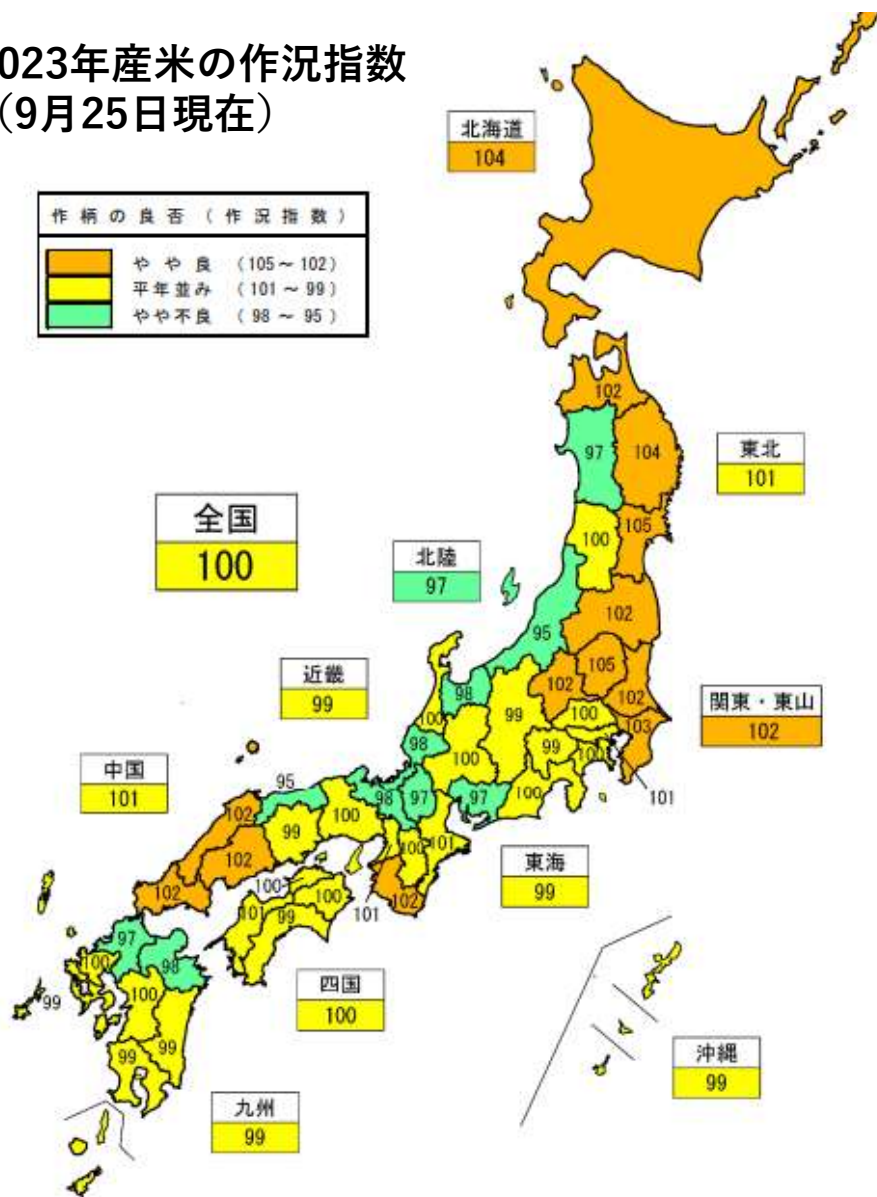
米をめぐる情勢



米の生産・消費量と食料自給率の長期的推移

出典：フード・マイレージ資料室 <https://food-mileage.jp/>

2023年産米の作況指数 (9月25日現在)



米の相対価格の推移 (全国全銘柄、年産平均)



農業生産資材価格指数	2021年	22年	23年9月
肥料	102.7	130.8	141.3
光熱動力	112.3	127.3	133.9

2023年産米の検査結果 (1等米比率、9月30日現在)

	23年産			22年産	21年産
	秋田	山形	新潟		
8月31日現在	68.9	100.0	41.0	68.0	76.1
9月30日現在	59.6	62.6	13.5	75.8	82.6
最終				78.5	83.1

出典：いずれも農林水産省ホームページより

生産者の方の思い：菅野芳秀さんの場合

1949年山形・長井市生。三里塚、沖縄と「国家への謀反の現場を転戦」したのち、26歳の時に帰郷して「逃げたいと思っていた」家業の農業を継ぐ。自然卵養鶏、水田、野菜。

循環型地域社会づくりの先進例として名高い**レインボープラン**、**置賜自給圏構想**を推進。置賜百姓交流会世話人、アジア農民交流センター（AFEC）共同代表など。

「小農や家族農業は潰され、人々が共に暮らしていた村は崩壊の淵にある。しかし、時代の大きな流れは我々の勝利を約束してくれている」（『七転八倒百姓記』より。）



（2023.7/14、東京・八王子にて）



（ご著書『七転八倒百姓記』（2021.10））



（菅野ファームの新米・つや姫）